

令和4年 成人式

新成人の皆さん、ご成人おめでとうございます。今年、成人を迎えたのは、平成13年4月2日～平成14年4月1日に生まれた人で、489人が新成人となりました。

市では、例年より短い時間ではありましたが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底の上、1月9日に市文化会館で成人式を開催。新成人たちは、大人への新たな一歩を踏み出しました。



新成人のことはば 新成人を代表して発表された「新成人のことはば」を紹介します。



鶴田 哲平さん

本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な式典を催していただきありがとうございます。さて、二十歳を迎える今、私たちは自身が持つ夢や目標に向かって、またはそれを見つけるための歩みをおのおの進めています。

私の目標は、日本を代表するプロのレーシングドライバーになることです。

父に初めて鈴鹿サーキットに連れられ、迫力あるエンジン音や高速で走るレーシングカーを目の当たりにした時、その臨場感に圧倒されながらも「私もあのレースカーに乗ってレースに出たい」と強く思ったのを今でも覚えています。

そして、小学1年生のときから13年間、たくさんの方々に支えていただきながら、レーシングドライバーとしての活動を続けています。自分でも納得のいく走り、優勝を勝ち取り、喜びを噛みしめることができた瞬間がある一方で、思うような結果を残せず、レーサーとしての不安や挫折を覚えてしまうことも、これまで幾度となくありました。しかし、そのたびに多くの時間を共に過ごしてきた友人、さまざまなことを教え導いてくださった先生方、成長を温かく見守ってくださった地域の方々からの応援が背中を押してくれました。そして何より、活動を支え続けてくれる家族がそばにいてくれたからこそ、今の私があります。本当にありがとうございます。

これからは、大人としての自覚と責任を果たし、レーサーとしてだけでなく一社会人として大きく評価していただけるよう精進してまいります。

最後に、プロのレーシングドライバーとなり、最高峰の舞台上で走る雄姿を地元・亀山市に届け、恩返しすることを誓い、新成人の言葉とさせていただきます。



今西 啓登さん

本日は、私たち新成人のために、このような式典を挙げていただきましたこと、心よりお礼申し上げます。長引くコロナ禍において、自粛が呼び掛けられてきた中、普段通りの日常を過ごせることのありがたみやたくさんの方からの愛情の大きさに改めて気付かれされます。感謝の気持ちが溢れるとともに、自身の近況を振り返り、私が自立する上で大切にしていきたいと感じた信念が2つあります。

1つ目は、自分の意欲を尊重することです。私は大学に入学するまで、野球一筋で音楽の世界に本格的に触れたことがなかったにも関わらず、現在、オーケストラ部に所属しています。興味があったというのみで、無謀な挑戦だったのかもしれませんが。コロナ禍の影響で、演奏機会にも恵まれませんでした。しかし、練習を続け、先日、初めて一般のお客さんの前で演奏することができました。そのときの達成感を、私は一生忘れられそうにありません。

2つ目は、地道な努力を続けることです。楽器を手にしたからの日々は、入部する前に目にした華やかな演奏姿からは想像できないような地味な練習の繰り返しでした。時に、自分のイメージしていた活動とのギャップに嫌気がさすこともありましたが、演奏に向けた段階を踏むたびに、日々の積み重ねが実を結んでいるのを感じました。

私たちはこれから成人として、さまざまな選択をしていかなければなりません。私は、この2つのことを自身の土台として、さまざまなことに自ら挑戦できる大人になれるよう、今後の人生を歩んでいきたいと思えます。

最後になりますが、成人式の開催に向けてご尽力いただきました皆様方にお礼を申し上げ、新成人の誓いの言葉とさせていただきます。

令和5年以降の成人式について

令和4年4月1日から、成年年齢を従来の20歳から18歳に引き下げる改正民法が施行されますが、亀山市では、これまでどおり20歳の人を対象とし、式典の名称を「亀山市二十歳の集い」と改めて実施します。